

令和2年度（2020年度）事業報告書

横須賀市産業振興財団は、平成4年11月の設立以来、横須賀市産業交流プラザを拠点として本市産業振興の取り組みを進め、平成26年4月に公益財団法人として組織体制を改編しました。

令和2年度は、横須賀市IoT導入支援事業を推進するとともに、経済産業省から選定されている「横須賀市IoT推進ラボ」事務局として、時代に即応する新たな業務を担うとともに、国・県の支援策も活用しながら市・商工会議所等の関係機関・団体と連携し、既存の中小企業に向けた経営支援、創業者支援及び起業人材育成支援をはじめ当財団の専門性・機動性を発揮して諸事業を展開しました。

また、オンライン会議システムのアカウントをいち早く取得し、いかなる状況下にあっても相談事業、研修事業等を継続実施できる体制をとりました。

今後も、企業の経営革新や創業者成長支援等をはじめとする各種研修事業、交流事業及び相談・アドバイス業務を通じて、本市産業の一層の振興を図るとともに、三浦半島地域の中小企業勤労者の福利厚生の更なる充実に向けた事業を展開します。

1 事業の概要

(1) 公益目的事業

ア 産業振興に関する交流会、シンポジウム等の開催（交流事業）

（予算額 3,068,000 円）

支出額 2,238,147 円

（前年度支出額 1,701,497 円）

(ア) 異業種交流グループの活動支援（補助）

企業間連携によって新たな事業起こしを目指す異業種交流グループの活動に対して、活動費の一部を補助するとともに、定例会に随時参加し、アドバイスをを行った。

- ・横須賀地域研究機関等連絡協議会

(イ) 産学連携・産業経済人交流会の開催

大学研究者と企業経営者、技術者、創業者が情報交換を行うことにより、相互の理解を深め、新たなビジネスチャンスの創出を図るために交流会を企画したが、感染症拡大防止の観点から令和2年度は開催を見送った。

(ウ) 地域を越えたビジネス交流会への参加

県内の5産業振興財団等が市域を越えた企業間の交流を促進するため、それぞれの財団が主催する事業について互いに啓発に努めた。

- ・構成機関 各産業振興財団（横浜、川崎、相模原、湘南、横須賀）他
- ・内 容 川崎市産業振興財団「かわさき起業家オーディション ビジネス・アイデアシーズ市場」後援
神奈川産業振興センター「テクニカルショウヨコハマ2021」後援

(エ) 中小企業支援フォーラムの活動支援

女性起業家を目指すグループや産学連携の自主的な活動に対して、運営のアドバイスとともに広報、開発経費等の支援を行った。

- ・対 象 ①女性起業家応援団“WITH”
②横須賀ガジェットラボ研究チーム
③横須賀三浦地区工業経営研究会

①女性起業家による勉強会の開催（WITH 主催・財団後援）※

Web デザイナー、ファイナンシャルプランナー、アートセラピスト、メイクアップアーティスト、フラワー講師等、自らのスキルを活かして起業家としての成長を目指す「女性起業家応援団“WITH”」が行う外部専門家（税理士）を招いて確定申告勉強会やメンバー間の勉強会・報告会を次のとおり開催した。なお、感染症拡大防止の観点からオンライン併用開催。

コーディネーター：(株)フォワード・グッド代表取締役・中小企業診断士 原賢治

確定申告勉強会 1/29 参加者：5名

勉強会・報告会 4/24【オ】・5/22【オ】・6/22【オ】・7/18【オ】・8/22【オ】・9/25
10/23・11/20・12/19【オ】・2/26【オ】・3/28【オ】

計11回 参加者：延べ60名

(※) 【オ】はオンライン開催。

②横須賀ガジェットラボ研究チームによる開発試作の支援(木皿直規コーディネーター主催)

横須賀ガジェットラボ研究チームの開発・試作に必要な機材・部品・ソフトを購入した。なお、感染症拡大防止の観点からオンライン併用開催。

チーム構成員：木皿コーディネーター、研究者、開発者、企業経営者等 計5名

開発試作の会合：令和2年5月～令和2年11月まで計4回 参加者：延べ5名

③横須賀三浦地区工業経営研究会

製造業の経営者で構成される同研究会では、例年研修会を開催し、IoT 導入による製造現場の生産性向上をテーマに中小企業導入事例及び当財団 IoT 導入支援メニューの紹介などを実施しているが、感染症拡大防止の観点から令和2年度は開催を見送った。

(オ) ハッカソン※ (ICT 関連)

横須賀市内に ICT 関連企業・人材の誘致や育成を図るとともに、研究機関や観光地など横須賀ならではの資源に注目し、ICT を活用した新たな事業興しのヒントを得るため、アイデアソン※を15回に渡り開催した。

なお、この事業は、平成27年7月1日から当財団が事務局を務めている「ヨコスカバレー構想実現委員会」のハッカソンユニット事業と連携して実施した。

(※) ハッカソンとはハック(Hack)とマラソン(Marathon)を掛け合わせた造語。

(※) アイデアソンとはアイデア(Idea)とマラソン(Marathon)を掛け合わせた造語。

a ヨコスカバレー構想実現委員会・横須賀市 IoT 推進ラボ定例会でのアイデアソン開催

・期 日 4/14・6/9・8/11・10/13・12/8・2/13 計6回

・開 催 オンライン (Zoom)

・参加者 延べ119名

・内 容

ヨコスカバレー構想実現委員会・横須賀市 IoT 推進ラボ定例会において毎回1～6件のプレゼンテーションを実施。プレゼン内容を一層魅力的で実現可能なものにするためのアイデアを出し合うアイデアソンを6回開催した。なお、感染症拡大防止の観点からオンラインで開催した。

b ろぼてユニット実証実験アイデアソン

・期 日 2/22・2/24・2/26・3/8・3/9・3/10・3/11・3/12・3/15 計9回

・場 所 横須賀市産業交流プラザ交流ロビー

・参加者 64名

・内 容

地域コミュニティに馴染み愛されるロボットをデザインするため、ろぼてユニット(ヨコスカバレー構想実現委員会でロボティクスを推進するユニット)が女子美術大

学学生がデザインしたロボット3体を原寸大の発砲スチロール造形で作成し、自律神経年齢などが測定できるセンサー・モニター・PCを組み込み、産業交流プラザ来館者や近隣に勤務する人を対象としてモニタリングを実施。毎日使いたくなる地域に愛されるロボットとして求められる機能や使用感などのアイデアをヒアリングした。

イ 産業経済に関する研修会、講習会の開催（研修事業）

（予算額 15,062,000 円）

支出額 10,078,473 円

（前年度支出額 9,603,090 円）

（ア）産学交流セミナー・フォーラムの開催

横須賀市に立地している企業や大学の知的資産を活用し、産学連携を促進するため、産学交流セミナーの開催とともに、環境・新エネルギー、ICT分野に関するフォーラム等を開催して産学官連携の意義を広く周知した。

a 産学交流セミナーの開催

防衛大学の協力を得て市内中小企業の経営の参考となるセミナーを開催し、延べ47名が参加した。

- ・期 日 10/31・12/12・1/22(全3回)
 - ・場 所 横須賀市産業交流プラザ (10/31・12/12)
オンライン (Zoom ウェビナー 1/22)
 - ・主 催 (公財)横須賀市産業振興財団
 - ・後 援 横須賀市 (全3回)
 - ・対象者 企業経営者、技術者及び市民
 - ・内 容
- 第1回 「横須賀の危機管理と産学官連携」
防衛大学校 人文社会科学群 国際関係学科 教授 宮坂 直史
(参加者 17名)
- 第2回 「社会で活躍する髪より細いマシン」
防衛大学校 システム工学群 機械システム工学科 講師 洞出 光洋
(参加者 15名)
- 第3回 「光ファイバセンサってなあに？」
防衛大学校 電気情報学群 通信工学科 教授 田中 哲
(参加者 15名)

b 横須賀市研究機関研究者交流会

三浦半島地域に集積している研究機関のネットワークを強化するとともに、研究者間の課題を共有し連携することで、新技術の開発、新産業の創出及び産業集積の促進を目指す研究者同士が交流する場として開催を企画したが、感染症拡大防止の観点から令和2年度は開催を見送った。

c 産学連携フォーラムの開催

市内中小企業が持つMDF（多軸鍛造）技術によって、純チタンの硬度と粘度を向上させ、歯科学分野における活用・実用を図る研究会を非公開での開催を企画したが、感染症拡大防止の観点から令和2年度は開催を見送った。

（イ）新春経済講演会の開催

新聞やテレビで活躍する講師により、激動する日本経済が直面している諸問題を豊富な経済知識で分析し、これからの日本経済の展望について新しい年の経営指針となる講演会を企画したが、感染症拡大防止の観点から令和2年度は開催を見送った。

(ウ) プログラミング研修の開催

将来の ICT 人材を育成するため、主に横須賀市内在住・在学の小学生 3 年生～小学生 5 年生を対象にプログラミングを体験する初心者教室を開催した。プログラミング言語である Scratch (スクラッチ) を使い、プログラミングの基礎から学習しオリジナルゲームの開発までを行った。

横須賀プログラミングワークショップの開催

- ・期 日 3/20・3/21・3/27・3/28 (全 4 回)
- ・開 催 オンライン (Zoom)
- ・主 催 (公財)横須賀市産業振興財団
- ・協 賛 (株)建新
- ・後 援 横須賀市、横須賀市教育委員会
- ・協 力 (株)CA Tech Kids、(株)JTB 横須賀支店
- ・対象者 小学校 3 年生～小学校 5 年生
- ・参加者 39 名

(エ) 創業セミナーの開催

a 創業セミナー<特定創業支援等事業>

創業の意欲を持つ人に対して、創業の心構えや創業に必要なノウハウを系統的に学び、創業支援機関からの創業支援メニュー紹介、創業体験談の発表やショートプレゼンの実践的訓練を含む研修を特定創業支援等事業として年 2 回実施した。

【前期創業セミナー】

- ・期 日 7/4・7/11・7/18・7/25・8/1・8/8<全 6 回>
- ・開 催 オンライン (Zoom)
- ・主 催 (公財)横須賀市産業振興財団
- ・共 催 (株)日本政策金融公庫、横須賀市、(公財)神奈川県産業振興センター
- ・後 援 横須賀商工会議所、神奈川県信用保証協会、(株)横浜銀行
かながわ信用金庫、湘南信用金庫
- ・協 力 RH.Kitchen、税理士法人みかさパーク共同事務所、京浜急行電鉄(株)
楽天ペイメント(株)、(株)クレディセゾン、神奈川県よろず支援拠点
- ・テーマ ①「金融機関職員が教える創業のポイント」(7/4)
②「事例から学ぶ創業成功のポイント」(7/11)
③「人を雇うときのルール(労働保険・社会保険等)」(7/18)
④「売れる仕組み・仕掛けの作り方」(7/25)
⑤「創業を応援する支援制度の紹介・創業体験者の事例紹介など」(8/1)
⑥「創業計画書作成セミナー・横須賀市中小企業アドバイザーネットワークによる創業支援施策紹介・創業体験者の事例紹介」(8/8)
- ・講 師 (株)日本政策金融公庫 南関東創業支援センター 所長 寺田博史 (①)
中小企業診断士 飯島伸博 (②)
社会保険労務士 鈴木江美 (③)
中小企業診断士 高久裕司 (④)
神奈川県よろず支援拠点 横須賀サテライト コーディネーター 大野順弘 (⑥)
- ・紹介者 京浜急行電鉄(株) 生活事業創造本部 開発統括部 課長 佐野泰 (⑤)
楽天ペイメント(株) 楽天ペイ事業本部 加盟店営業第一部
地域活性化チーム 鈴木修 (⑤)
(株)クレディセゾン 営業推進事業部 神奈川支社 営業一課 漆原彩日(⑤)
(公財)神奈川県産業振興センター 事業部 経営支援課 課長 恩田健一郎(⑤)
税理士法人みかさパーク共同事務所 代表社員 税理士 堀川敏毅 (⑤)

- かながわ信用金庫 審査部 経営サポート課 係長 銭場拓也 (⑥)
 湘南信用金庫 営業統括本部 地域活性課 チーム湘南
 課長補佐 藤本直人 (⑥)
 横須賀商工会議所 産業・地域活性課 主任 藤原信介 (⑥)
 (株)横浜銀行 法人営業部 ビジネスローンプラザ
 創業支援デスク 石原悟志 (⑥)
 神奈川県信用保証協会 横須賀支店 支店長 吉原一希 (⑥)
 横須賀市経済部 創業・新産業支援課 創業支援担当 平野麻衣 (⑥)
 RH.Kitchen/天ぶら葉山 葉山亮 (⑥)
- ・参加者 27名 (特定創業支援等事業による確認書発行要件充足者 25名)

【後期創業セミナー】

- ・期 日 10/29・11/5・11/12・11/19・11/26・12/3<全6回>
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・主 催 (公財)横須賀市産業振興財団
- ・共 催 (株)日本政策金融公庫、横須賀市、(公財)神奈川県産業振興センター
- ・後 援 横須賀商工会議所、神奈川県信用保証協会、(株)横浜銀行
かながわ信用金庫、湘南信用金庫
- ・協 力 (一社)sukasuka-ippo、(株)ヤチヨ、タイムカプセル(株)
神奈川県よろず支援拠点
- ・テーマ ①「金融機関職員が教える創業のポイント」(10/29)
②「事例から学ぶ創業成功のポイント」(11/5)
③「創業体験者の事例紹介・ECサイト運営事業者からの情報提供・横須賀市
中小企業アドバイザーネットワークからの創業支援施策紹介」(11/12)
④「売れる仕組み・仕掛けの作り方」(11/19)
⑤「プレゼンスキルを磨く・事業や商品の魅力を簡潔に伝えるコツ」(11/26)
⑥「人を雇うときのルール(労働保険・社会保険等)・横須賀市産業振興財団
からの情報提供」(12/3)
- ・講 師 (株)日本政策金融公庫 南関東創業支援センター 所長 寺田博史 (①)
中小企業診断士 飯島伸博 (②)
中小企業診断士 高久裕司 (④)
神奈川県よろず支援拠点 横須賀サテライトコーディネーター 貝吹岳郎 (⑤)
社会保険労務士 鈴木江美 (⑥)
当財団所属中小企業診断士 石井健次 (⑥)
- ・紹介者 (一社)sukasuka-ippo 代表理事 五本木愛 (③)
株式会社ヤチヨ 代表取締役 鈴木孝博 (③)
横須賀商工会議所 産業・地域活性課 主任 藤原信介 (③)
タイムカプセル(株) 代表取締役 相澤謙一郎 (③)
かながわ信用金庫 審査部 経営サポート課 係長 銭場拓也 (③)
横須賀市経済部 創業・新産業支援課 主任 松田こずえ (③)
- ・参加者 17名 (特定創業支援等事業による確認書発行要件充足者 10名)

b 女性のための開業スクール

女性が初期投資を抑えたりリスクの少ない起業ができるよう創業ノウハウのポイントや経験者の事例を学ぶイベントを開催した。なお、感染症拡大防止の観点からオンライン併用開催。

- ・期 日 令和2年9月19日(土)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ(実会場)、Zoom(オンライン)
- ・主 催 (公財)横須賀市産業振興財団
- ・共 催 横須賀市

・内 容

(a)第1部 私の開業体験談「こんな仕事で開業しました！」

コーディネーター：(株)ウィザライズ 代表取締役 高久裕司

開業体験談発表者：(株)FOOD&風土 代表取締役・料理研究家 長谷川りえ
プロが明かす「開業成功のツボ」

講師：(株)ウィザライズ 代表取締役 高久裕司

(b)第2部 公開コンサルティング「私はこんな仕事を始めたい！」

コーディネーター：(株)ウィザライズ 代表取締役 高久裕司

(同)PDCA デザイン 代表 櫃間霞

開業希望者①：ゼロウェイストを取り入れた小売店を始めたい開業希望者
鈴木彩子

開業希望者②：会話を楽しんでもらうため日本語／英語を教える事業を始め
たい開業希望者 木下直美

(c)第3部 開業支援ツールのご紹介

紹介者①：(株)タカヨシ 金谷万里子

紹介者②：楽天ペイメント(株) 楽天ペイ事業本部 加盟店営業第一部

エンパワーメント営業第一グループ 地域活性化チーム 鈴木修

紹介者③：(株)クレディゼン営業推進事業部 神奈川支社 営業1課 漆原彩日

紹介者④：オフィスまみい 代表 渡辺美智代

紹介者⑤：京浜急行電鉄(株) グループ戦略室 グループ統括担当 課長 佐野泰

紹介者⑥：(株)IBJ 営業2部 部長 杉山達哉

紹介者⑦：横須賀商工会議所女性会 会長 小谷光子

紹介者⑧：女性起業家応援団 WITH 木下直美

・参加者 26名（実会場 15名、オンライン 11名）

c. こども起業体験

「アントレチャレンジ2020 in よこすか」と銘打って、こどもがビジネスアイデアを作ってプレゼンテーションをするまでのプログラムをオンラインで実施した。事業計画を作成するまでのプロセス、事業計画の作り込み、多くの人に対して自身が考えたアイデアを発表することで得るプレゼンテーションスキルの向上などを体験することで、こどもの時期から創業意識を醸成する機会を提供した。なお、ビジネスアイデアコンテストに先立ち、起業家を招いて講演会を開催し、コンテスト参加者の募集と起業が身近な選択肢であることを示した。

【オンライン講演会】

・期 日 令和2年11月22日（日）

・開 催 オンライン（Zoom）

・主 催 （公財）横須賀市産業振興財団

・後 援 横須賀市、横須賀市教育委員会、(株)日本政策金融公庫

・運 営 ミテモ(株)、(一社)ウィルドア

・協 力 (株)ラントリップ 代表取締役 大森英一郎

(株)HAYATO KURATA 代表取締役 倉田速音

CEPON(株) 代表取締役 鷺田るみ

・内 容 横須賀出身若手起業家からの創業体験事例紹介、現役高校生起業家2名からの創業体験事例紹介、登壇者パネルディスカッション、質疑応答など

・参加者 28名

【横須賀ビジネスアイデアコンテスト】

・期 日 1/16・1/23・2/13（全3回）

・開 催 オンライン（Zoom）

- ・主 催 (公財)横須賀市産業振興財団
- ・後 援 横須賀市、横須賀市教育委員会、(株)日本政策金融公庫
- ・運 営 ミテモ(株)、(一社)ウィルドア
- ・協 力 関東学院大学 法学部 地域創生学科 教授 木村乃
タイムカプセル(株) 代表取締役 相澤謙一郎 (賞提供)
国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) デプロイメント推進部門
シニアマネージャー 笹山佳徳
(株)京浜急行電鉄株式会社 (参加賞提供)
横浜銀行横須賀支店 (賞提供)
かながわ信用金庫 (賞提供)
湘南信用金庫 (賞提供)
- ・内 容 横須賀の魅力についての講演、参加者自己紹介、ビジネスプラン作成の基礎知識、ビジネスアイデアを検討するグループワークなど (1/16)
ビジネスアイデアを検討するグループワーク、ビジネスアイデア概要説明のプレゼンテーション練習など (1/23)
6チーム(8名)からのプレゼンテーション、全員参加型ブレインストーミング、表彰、NICT 起業家甲子園紹介など (2/13)
- ・参加者 8名 (横須賀市に在住・在学の中学生・高校生)

(オ) スタートアップオーディション

新たな事業領域を自らの創意工夫で切り開くビジネスプランを募集し、審査・公表を企画したが、感染症拡大防止の観点から令和2年度は開催を見送った。

ウ 産業経済情報の収集及び提供 (情報提供事業)

(予算額 1,742,000 円)
支出額 1,650,801 円
(前年度支出額 745,355 円)

(ア) 情報の収集及び提供

産業交流プラザの情報図書室において、来館者に経済情報等を提供した。

(イ) ホームページ・SNS (Facebook) による情報発信

セミナー・イベントの告知や相談窓口の紹介などの情報発信を行った。

エ 産業経済に関する調査研究 (調査・相談事業)

(予算額 9,047,000 円)
支出額 8,310,681 円
(前年度支出額 6,827,751 円)

(ア) 産学官連携推進事業

市内中小企業が研究開発を伴う事業に取り組む際に、大学や研究機関との橋渡しを行う他、企業間連携促進のために産学官コーディネーターを1名配置して個別案件を支援した。なお、感染症拡大防止の観点からオンライン併用実施。

- ・氏 名 木皿直規
- ・稼働日数 延べ91日
- ・支援実績 個別支援対象事業所・団体に対して大学・研究機関の研究者や連携企業を継続的に仲介した他、研究開発力向上のためのアドバイスを行った。また、コーディネート機能向上のため、情報収集を行う目的で各種オンライン展示会・オンラインセミナーに参加した。

(イ) 産業技術相談事業

a 産業技術相談

中小製造事業所の技術課題に対応するため、県機関と連携して個別訪問を行った他、感染症予防対策のためオンラインを交えて実施した。技術的なアドバイスとともに表彰制度や補助金など公的支援策の紹介を行った。

- ・期 間 令和2年6月から令和2年12月
- ・企業数 7社(13回)
- ・実施者 (地独)神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)職員、
(公財)神奈川県産業振興センター(KIP)職員、
IoT導入支援コーディネーター、当財団職員等

b IoT導入支援

工業、商業、農業、漁業、イベント・観光の5分野に対して、IoT導入により生産性、利便性向上を図るため、勉強会や実証実験、ニーズのヒアリングなどIoT導入支援に向けた活動に加え、生産性向上のため具体的なIoT導入の助言・提案を行うIoT診断を実施した。

- ・期 間 令和2年4月から令和3年3月
- ・内 容
 - 工業分野 ニーズヒアリング訪問3回
現地視察3回
IoT診断8回
 - 商業分野 ニーズヒアリング訪問2回
 - 農業分野 市内企業が取り組むIoT機材施策状況のヒアリング1回
 - 漁業分野 市内企業が取り組むIoT機材試作状況のヒアリング1回
 - イベント・観光分野 ニーズヒアリング訪問1回
IoT機材貸出・設置・設定訪問1回
IoT実証実験結果ヒアリング1回

(ウ) メンタルヘルス相談事業

中小企業が独自に設置・実施することが困難な職場のメンタルヘルス対策を担うため、悩みやストレスを抱えている人及びその管理者・経営者・家族を対象に「働く人の相談窓口」を開設した。

- ・期 間 令和2年4月から令和3年3月(原則として毎週水曜日)
- ・相談者数 相談者29名(男性15名、女性14名) 延べ118回(平均4.1回/1名)
- ・相談員 (公財)横須賀市産業振興財団事業担当・産業カウンセラー 市川一郎
- ・内 容 ハラスメントを含む職場の人間関係 10名、就職・転職・復職・休職 12名、
家族問題 2名、その他 5名

(エ) 商工相談事業

市内中小企業の経営課題に対し、商工相談員が個別に課題解決に向けたアドバイスを行った。なお、感染症拡大防止の観点から一部オンライン併用実施。

- ・相談件数 54件(内コロナ相談窓口5件)
- ・相談員 中小企業診断士(28件)、行政書士(15件)、税理士(8件)、
弁護士(2件)、社会保険労務士(1件)

オ 中小企業等勤労者への福利厚生サービスの提供（福利厚生事業）

（予算額 21,631,000 円）
 支出額 13,567,552 円
 （前年度支出額 16,300,439 円）

（ア）会員の概要

	市 町	年度当初	増	減	年度末
会員数	横須賀市	1,187	110	122	1,175
	逗子市	24	25	3	46
	三浦市	28	5	5	28
	葉山町	5	1	0	6
	計	1,244	141	130	1,255
事業所数	横須賀市	153	7	10	150
	逗子市	7	2	1	8
	三浦市	6	0	0	6
	葉山町	2	1	0	3
	計	168	10	11	167

（イ）自己啓発・余暇活動事業

会員の自己啓発や余暇活動をサポートし、会員・家族の QOL 向上を目指す事業を、独自企画事業に加えて県内各サービスセンターや神奈川県労働者福祉協議会との共催で行った。また、福利厚生事業を全国展開している(株)ベネフィット・ワンと契約し、多様なサービスを提供した。

a クリスマスリース教室

- ・期 日 令和2年12月5日（土）
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・共 催 (株)セイウン
- ・参加者 40名

b みかん狩り・いちご狩り

- ・期 間 令和2年10月20日～令和2年11月30日（みかん狩り）
令和3年1月8日～令和3年2月28日（いちご狩り）
- ・場 所 津久井浜観光農園（みかん狩り・いちご狩り）
- ・参加者 96名

c 三浦半島の美味しいクーポン

- ・期 間 令和2年11月25日～令和3年1月31日
- ・参加事業所 手打ちうどん さわ BAR Auggie Wren
博多拉麺 せぶん いげた寿司
ラーメン 壺成 じえっと天
溶岩窯パン工房 ブロートバウム ワイズ
ローゼンベッカー榎の木邸 酒処 みずの
ごん平本舗 やきとり竜馬におまかせ
佐島マリーナホテル ベイサイドレストラン カフェモア
- ・利用枚数 108枚

d 各種利用券補助

・ジェフグルメカード	570 枚	・ユネッサン入場券	20 枚
・おんり〜ゆ〜他日帰り温泉チケット	45 枚	・ホテルランチ、ディナー券	76 枚
・TDR コーポレートプログラム利用券	37 枚	・葉山マリーナクルージング	51 枚
・すこやかん他スポーツ施設チケット	23 セット	・森永常温保存お豆腐ほか	56 セット
・ハーゲンダッツミニカップギフト券	102 枚		

e 文化教養（演劇、歌謡などの鑑賞券補助）

- ・場 所 よこすか芸術劇場
- ・内 容 能×オペラ「幻」
- ・利用枚数 1 枚

f 委託事業（ベネフィット・ワン）

・宿泊施設	38 件		
・スポーツ	281 件		
・レジャー&エンタメ	126 件		
・学ぶ	450 件ほか	合 計	1,623 件

(ウ) 健康の維持増進事業

会員が健康の維持増進のために行うスポーツの施設利用割引や、人間ドック・がん検診（PCR 検査を補助項目に加えた）、インフルエンザワクチン接種などに補助をした。

a スポーツ施設利用補助（再掲）

- ・横須賀市健康増進センター「すこやかん」 6 セット（1 セット 10 枚）
（大規模修繕に伴う休業のため払い戻しの実施 407 枚ー2019 年度購入分から対象）
- ・横須賀市サブアリーナほか3 件「温水プール」 15 セット（1 セット 11 枚）
- ・横須賀市総合体育会館ほか3 件「施設使用」 2 セット（1 セット 11 枚）

b インフルエンザワクチン接種補助

- ・補助対象 会員と登録している家族、計 3 名まで
- ・利用者 407 名

c 人間ドック・健康診断オプション「がん検診」補助

- ・補助対象 会員本人
- ・利用者 109 名

d 家庭用常備薬あっせん

- ・利用者 71 名

(エ) 情報提供事業

会員に季刊誌等を通じて、サービス・イベント情報を発信するとともに、未加入事業所に「ひとびとみうら」の事業内容について PR し、加入促進に努めた。

a 「ひとびとみうらセンターだより」の発行

- ・発行時期 4 月・7 月・11 月・2 月（計 4 回）
- ・発行部数 6,100 部
- ・内 容 運営状況、イベント広報ほか

b 「ひとびとみうらイベントニュース」の発行

- ・発行時期 令和2年4月から令和3年3月（計5回）
- ・発行部数 1,500部
- ・イベント広報ほか

(2) 収益事業等

ア 「ひとびとみうら」会員に対する祝い金や見舞金など慶弔金の給付（慶弔給付事業）

（予算額 6,838,000 円）

支出額 6,185,440 円

（前年度支出額 6,244,781 円）

(ア) 会員の概要

P9「オ 中小企業等勤労者への福利厚生サービスの提供(福利厚生事業) (ア) 会員の概要」のとおりに

(イ) 在職中の生活安定事業

会員とその家族に祝い金や見舞金など広範な慶弔給付事業を実施した。

- ・結婚、出産、子の小学校・中学校入学、永年勤続の祝金
給付額(結婚 10,000 円、他 5,000 円) 222 件
- ・休業、住宅災害、後遺障害の見舞金
給付額(5,000 円～25,000 円) 24 件
- ・会員、配偶者、子、親死亡による弔慰金
給付額(5,000 円～200,000 円) 63 件

イ 横須賀市内の特定中小企業者に対する経営改善支援（経営改善支援事業）

（予算額 3,129,000 円）

支出額 2,171,176 円

（前年度支出額 1,940,758 円）

(ア) オーダーメイド企業研修の受託

中小企業の要望に応じて、委託企業の経営課題に対応したテーマを設定し、経営コンサルタントを派遣。

- ・受託件数 6 団体 8 回受託（延べ 24 回）
- ・内 容 「サ高住運営事業者の建築要件設計支援」（5 回）
「眼鏡販売店の売上向上施策支援」（7 回）
「金属加工製造業の製造設備管理改善支援」（4 回）
「漁業協同組合の給付金制度紹介支援」（2 回）
「仕出し弁当・給食製造事業者の生産性向上計画立案支援」（1 回）
「医療機関の法制度変更点研修」（1 回）
「医療機関の経理・係数把握研修」（4 回）

(イ) 企業訪問調査・相談事業

市内中小企業の経営革新や創業者の経営拡大を支援するため、当該課題に適した専門家を派遣した。なお、感染症拡大防止の観点から一部オンライン併用実施。

- ・期 間 令和2年4月から令和3年3月まで年間を通じて実施
- ・企業数 14 事業者（14 回）
- ・訪問者 中小企業診断士

2 役員会等の概要

(1) 役員に関する事項

ア 評議員の就任

- ・令和2年5月29日付 武市 竜哉氏 (就任)
- ・令和2年6月29日付 市川 卓真氏 (就任)
- ・令和2年8月24日付 鷺尾 精一氏 (就任)
- ・令和2年8月24日付 黒川 善文氏 (就任)

イ 評議員の辞任

- ・令和2年5月28日付 桜井 秀樹氏 (一身上の都合による)
- ・令和2年6月28日付 田代 亘氏 (一身上の都合による)
- ・令和2年8月23日付 石渡 卓氏 (一身上の都合による)
- ・令和2年8月23日付 大木 敦氏 (一身上の都合による)

ウ 理事の就任

- ・令和2年5月29日付 島内 太郎氏 (就任)
- ・令和2年6月29日付 小池 克彦氏 ほか7名 (任期満了に伴う再任)
- ・令和2年6月29日付 小平 一穂氏 (就任)

エ 理事の辞任

- ・令和2年5月28日付 青柳 幸司氏 (一身上の都合による)

オ 監事の就任

- ・令和2年8月24日付 若松 滋俊氏 (就任)

カ 監事の辞任

- ・令和2年5月28日付 山田 真悟氏 (一身上の都合による)

(2) 役員会等に関する事項

ア 令和元年度事業及び決算等の監査 令和2年6月1日

イ 理事会

- ・令和2年度第1回理事会 令和2年5月15日
第1号議案 「評議員会の招集について(決議の省略による)」
- ・令和2年度第2回理事会 令和2年6月14日
第1号議案 「令和元年度(2019年度)事業報告及び決算について(決議の省略による)」
第2号議案 「定時評議員会の招集について(決議の省略による)」
- ・令和2年度第3回理事会 令和2年6月29日
第1号議案 「代表理事及び業務執行理事の選任について(決議の省略による)」
- ・令和2年度第4回理事会 令和2年8月14日
第1号議案 「評議員会の招集について(決議の省略による)」

- ・令和2年度第5回理事会 令和3年3月10日
 - 第1号議案 「令和3年度(2021年度)事業計画について」
 - 第2号議案 「令和3年度(2021年度)収支予算について」
 - 第3号議案 「職員就業規則の一部改正について」
 - 第4号議案 「評議員会の招集について」

ウ 評議員会

- ・令和2年度第1回評議員会 令和2年5月29日
 - 第1号議案 「評議員の辞任及び選任について(決議の省略による)」
 - 第2号議案 「理事の辞任及び選任について(決議の省略による)」
 - 第3号議案 「監事の辞任について(決議の省略による)」

- ・令和2年度第2回評議員会 令和2年6月29日
 - 第1号議案 「理事の選任について(決議の省略による)」
 - 第2号議案 「評議員の辞任及び選任について(決議の省略による)」
 - 第3号議案 「令和元年度(2019年度)決算について(決議の省略による)」

- ・令和2年度第3回評議員会 令和2年8月24日
 - 第1号議案 「評議員の辞任及び選任について(決議の省略による)」
 - 第2号議案 「監事の選任について(決議の省略による)」

- ・令和2年度第4回評議員会 令和3年3月25日(オンライン併用)
 - 第1号議案 「令和3年度(2021年度)事業計画について」
 - 第2号議案 「令和3年度(2021年度)収支予算について」